

電子文書に対する署名技術

鈴木 博* 清水可奈子**
 大澤 尚** 佐伯正夫*
 植村 穰**

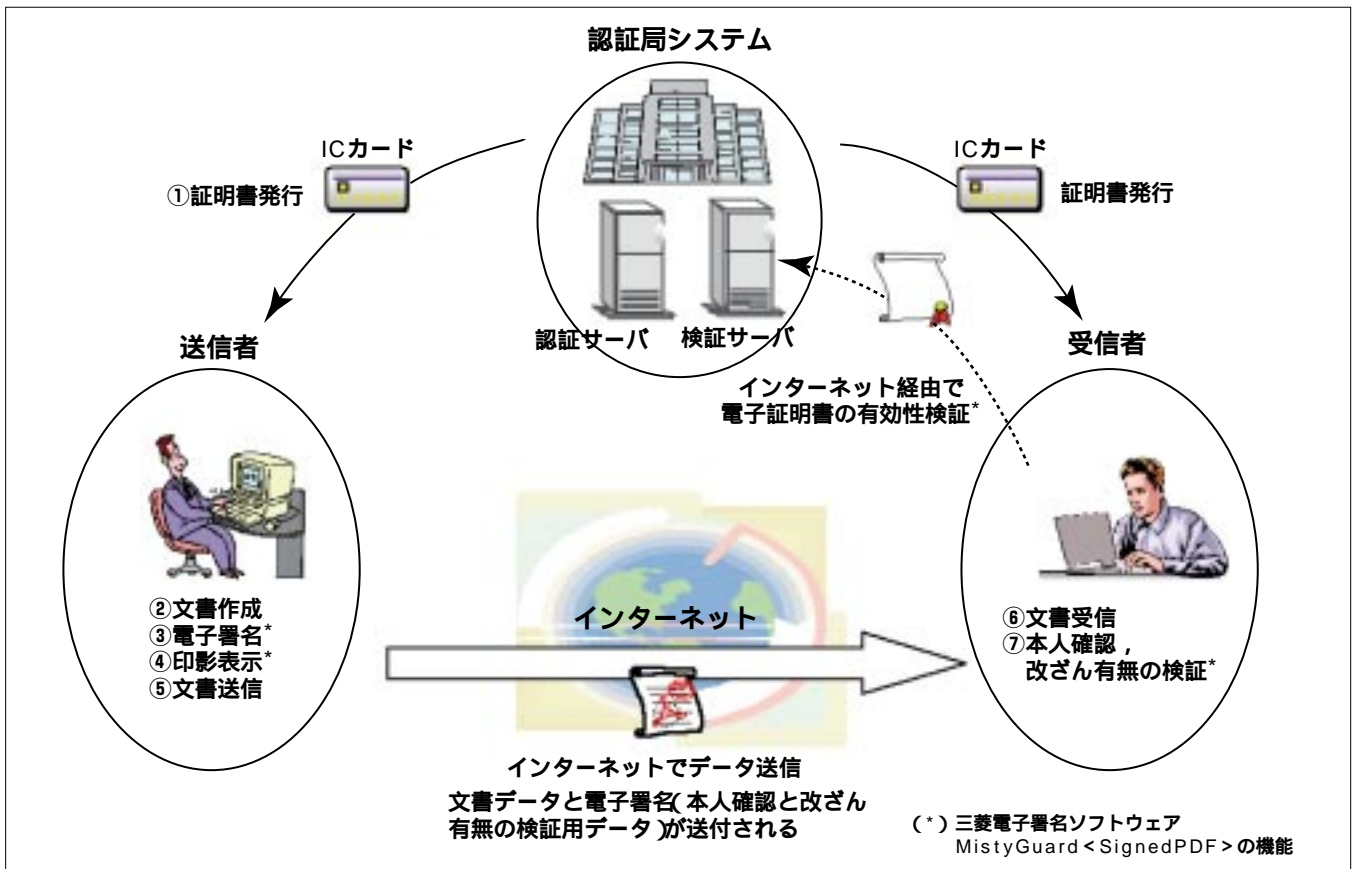
要 旨

2001年4月に施行された電子署名法(「電署名及び認証業務に関する法律」), 2003年度における電子政府の実現などPKI(Public Key Infrastructure)の整備が本格化している中, 従来紙で取り交わされていた各種申請書類や企業内/企業間における承認/決裁文書の電子化が急速に進んでいる。また, インターネット上における文書交換においても, 電子メールを使用した電子文書の送受信やWWW(World Wide Web)サーバのホームページからの電子文書のダウンロードなどが一般的になりつつある。しかし, 文書の電子化に当たっては, 文書作成者の本人確認, 文書の改ざん検出などセキュリティ上の問題を解決する必要があり, 電子文書に対する署名技術が不可欠なものとなる。

多種多様な電子文書形式のうちインターネット上での文書交換に広く使われているAdobe(注)PDF(Portable Document

Format)ファイルやXML(Extended Markup Language)ファイルへの署名技術, さらには新署名データ形式であるCMS(Cryptographic Message Syntax)等の研究開発を行っているが, 本稿では, PDFファイルを対象とした電子署名製品“三菱電子署名ソフトウェアMistyGuard(注)<SignedPDF(注)>”の署名技術を中心に解説する。

SignedPDFは, ICカードを使用してPDFファイルに対して電子署名を行い, さらに電子署名を視覚的に表示するため電子署名に対応した印影イメージを表示させることを特長とした製品である。各種申請業務や社内ワークフロー等, これまで押印が必要なために文書の電子化が進まなかった業務に適用することができ, ペーパーレス化や文書送付のスピードアップ化によるコストダウンを実現可能とする。



SignedPDFシステムの構成例

SignedPDFは, ICカードを使用してPDFファイルに電子署名を行い, さらに電子署名に対応した印影イメージを表示させることを特長とした製品である。各種申請業務や社内ワークフロー等, これまで押印が必要なために文書の電子化が進まなかった業務に適用することができ, ペーパーレス化や文書送付のスピードアップ化によるコストダウンを実現可能とする。